

10

郵便局での環境保全活動

全国の郵便局では、環境月間(6月)をきっかけとして、清掃、植林、リサイクル活動など、地域に根ざした環境保全活動を実施しています。主な取組をご紹介します。

北海道支社



東北支社

平成17年度における活動紹介



北海道支社エリア全郵便局及び北海道支社 全道一斉クリーンアップ大作戦

職員の環境意識向上及び地域社会における環境保護活動の推進のため、清掃ボランティア活動「全道一斉クリーンアップ大作戦」を実施し、全道の郵便局、支社等職員家族を含め約8,000人(エリア内職員の約半分)が参加しました。実施に当たっては、ごみ処理方法が市区町村で異なること及び市区町村との連携強化を図るため市区町村単位で実施し、公園、河川敷、海岸線、国道等のごみ拾い等を行いました。



釧路豊川郵便局

「花いっぱい」潤いの空間づくり

四季折々の花を郵便局前の花壇に植えたり、フェンス等に鉢を掛け、立体的な空間を演出したりして、郵便局周辺及び近隣を巻き込んだ「花いっぱい」運動を展開しています。毎日、花壇の手入れを行い、花壇及び郵便局周辺の雑草を抜いています。地域の皆さまにも花が咲き終わると自主的に花摘みを手伝っていただいています。また、根分けして地域の皆さまに配布するなど、潤いのある空間として地域のオアシスを目指しています。



八戸郵便局及び八戸市内の郵便局

蕉島海浜公園クリーン作戦を実施

八戸郵便局と八戸市内の郵便局の職員及び家族137名で、八戸の観光名所である蕉島周辺の清掃を実施しました。八戸郵便局が地球環境の保全、地域貢献を目指して取り組むボランティアは今回で9回目です。一見するとごみが少なく見える蕉島周辺と蕉島海浜公園ですが、歩道橋やキャンプ場付近には吸殻や空き缶など、波打際には打ち寄せられた流木等が散乱していました。きれいな状態で市民の皆さま及び観光で来た方に蕉島見物をしていただきたいという参加者の思いで捨てたごみの量は、1時間でごみ袋50杯分となりました。なお、この模様はデーリー東北に記事掲載されたほか、八戸市のホームページでも紹介されました。

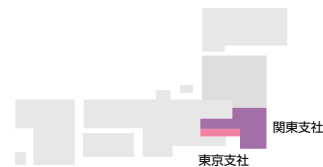


酒田郵便局

郵便局前の新井田川河川敷の清掃・草刈を実施

平成14年から継続して、年間4回の新井田川河川敷の清掃・草刈りに参加しています。その模様が「新井田川の会」会報に協力企業として紹介されたほか、地元新聞社に掲載されました。また、酒田市環境ボランティアにも積極的に参加、万里の松原の清掃・草刈を実施し、地元新聞社に掲載されました。





鴻巣郵便局

「割り箸回収」運動の展開

職員等が食事の際に使用した割り箸を回収し、愛知県にある製紙会社へ送付、製紙会社では全国から回収した割り箸をリサイクルして再生紙を作っています。割り箸3本からA4コピー用紙1枚が再生されています。開始当初は、割り箸をごみとして処分している職員が見受けられましたが、施策が浸透するに従い回収率も向上しています。現在では職員の90%以上が参画しています。毎日使用する身近な物ですが、施策の実施に伴う負担が少ないため途中で戻すばみになることなく継続されています。平成17年10月下旬に送付した割り箸の重量は12kg(2,500膳分)でした。



佐倉郵便局

印旛沼の清掃

「印旛沼一斉清掃」に佐倉郵便局及び周辺郵便局71局が参加し、印旛沼水質浄化と環境保全を目的として清掃活動を実施しました。この活動は今回で12回目で、普通郵便局及び特定郵便局から約150人が参加し、印旛沼のごみを分別して拾い集めました。印旛沼は地域の貴重な飲料水資源であり、この清掃活動を通じて地域と共に歩む郵便局として、地域貢献を図るとともに環境保護意識の高揚を図りました。



昭島郵便局

花壇の整備と清掃ボランティア

平成15年3月から毎年、花壇に一年を通して季節にあった花を植え、各課持ち回りで草取り等の手入れを毎日行うとともに、郵便局周辺及び近辺の歩道の清掃を実施しています。平成17年度には、昭島市主催の「花壇コンクール」において最優秀賞を受賞しました。

このほかにも、昭島市主催の「多摩川クリーン作戦」に職員・家族あわせて40名が参加し、可燃ごみ・不燃ごみを拾い集め、河川敷の清掃を実施しました。また、毎週水曜日に郵便局周辺及び近辺の歩道の清掃を実施しています。



東京中央郵便局

さまざまなボランティア清掃への取組

「モーニングクリーン作戦」として郵便局周辺の道路及び植え込み等を清掃しています。また、毎年2回、区民・事業所・団体等が参加する「千代田区一斉清掃」に参加し、東京駅側歩道及びバス停付近を清掃しているほか、「丸の内」打ち水大作戦に参加し、地区協議会の事業所・団体等と共に都市環境改善の一助となるなど、さまざまな地域環境施策行事へ参加しています。





長津田郵便局・鴨居駅前郵便局・横浜竹山郵便局・横浜霧が丘郵便局・
横浜白山郵便局・長津田駅北口郵便局

神奈川県やどりぎ森林整備

県植林地の整備を県職員及び県内のボランティアが集い丹沢山の自然保護・緑化保護を目的に年4回行っている活動に参加しています。参加は今年度で7年目、毎回部会内局長を中心に参加し、時には職員も参加しています。内容は、全員がのこぎり(大・小)、枝打ち用のはしごを担ぎ植林地まで登り、植林杉の枝打ち・伐採が主でかなりの重労働です。参加者の全員が県のボランティア保険に加入しています。



川崎中央郵便局・川崎港郵便局・中原郵便局・高津郵便局・登戸郵便局・麻生郵便局・宮前郵便局・
幸部会・川崎中部会・川崎東部会・中原西部会・中原東部会・高津部会・多摩部会・麻生部会・宮前部会

多摩川美化活動



川崎市(川崎区・幸区・中原区・高津区・宮前区・麻生区・多摩区)が主催している多摩川美化活動に参加しました。当日は、7つの開催場所に各郵便局・部会が分かれて、地域の皆さま約15,300人と共に多摩川河川敷約25kmの清掃を実施し、1時間30分かけて総量13.8トンのごみを回収しました。本活動の実施模様は各社の新聞等にも幅広く掲載されました。このほか川崎市内統一美化活動にも同様に参加しました。



長野鶴賀郵便局

商店街のごみ拾い

長野鶴賀郵便局は飲食店街の中心に位置するため、昼の人通りに比べ夜は3倍以上にも膨れあがります。そのため、朝になると夜間に捨てられたタバコの吸殻・紙くず・空き缶等が散乱しており、商店街は衛生的にも、見た目も悪くなり、朝の清々しい気分も損なわれてしまいます。そこで、地域の郵便局として何かお手伝いできることはないか、職員と真剣に考えるようになり、商店街のごみ拾いを実施したらどうかと職員から提案があり、平成9年から毎朝欠かさず実施しています。



中条郵便局及び北蒲北部会

「はまなすの丘」ボランティア清掃

日本海に面して展望の開ける県立公園「はまなすの丘」に群生するハマナスの保護及び公園付近の海岸美化を目的として、職員35名が、地域ボランティア団体「はまなすの会」及び胎内市桃崎浜地域の皆さまと一緒に、ボランティア清掃を実施しました。

この取組は平成16年から年2回実施しており、ハマナス群生地を守る取組として新潟日報に掲載されるとともに、中条町(現:胎内市)社会福祉協議会から表彰を受けました。





鯖江郵便局・特推連福井県中部連絡会鯖江部会
使用済み「はがき」の回収

地方公共団体と連携を取りながら、使用済み「はがき」の回収を行っています。この活動は、平成10年度からの長期継続施策であり、普通郵便局と特定郵便局合同での職員全員参加による活動です。



普推連加賀連絡会・特推連北加賀連絡会
「クリーンビーチいしかわ」に参加

石川県下の海岸線583kmを清掃美化する「クリーンビーチいしかわ」に企業キャプテンとして参加しました。当日は、早朝から普推連加賀連絡会・特推連北加賀連絡会の職員約350名が参加し、キャプテンを務める職員の指示に従い、個々に軍手にゴミ袋を持ち、約1時間海岸の空き缶・ごみなどを収集しました。



安城美園郵便局
プルトップで車イスを贈る

地域のお客さまに呼びかけて、プルトップ・アルミ缶を年間を通して収集し、5トン回収しました。それを換金し(約13万円)、車イス5台を購入し、安城市社会福祉協議会へ寄贈しました(これまでに寄贈した車イスは累計29台)。『プルトップで車イスを』の活動は、平成3年に『国際ボランティア貯金』が創設された際、地域と一体となって有効資源のリサイクルを実施しながら、「車イスを贈る」というボランティアも併せて実施するために開始し、現在に至っています。回収場所は局前とし、地域のアルミ缶収集の拠点として定着しています。



安城郵便局
ケナフの植樹

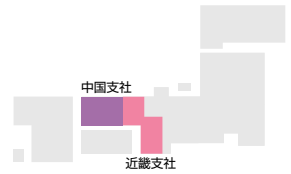
平成17年6月、地元の「自然に学び、ローゼルを育てる会」と共催で郵便局南側花壇へ環境に優しいケナフ*の苗(20本)を植樹しました。

また、同年10月にケナフの刈り取り作業を実施。小学生に対する環境保護意識の醸成を目的として11月にはケナフを利用した紙漉体験教室を実施し、はがきを作成しました。

このはがきを利用して、絵手紙体験教室を開催しました。

※ケナフは、二酸化炭素の吸収力が4~5倍と高く、地球温暖化防止に役立つ植物





王寺郵便局

早朝の放置自転車対策の取組に参加

平成15年8月から毎月第2・第4木曜日に早朝7時頃から8時半頃までJR王寺駅前にて、駅前美化運動に伴う放置自転車の整理・放置防止の声かけに参加しています。この活動が評価され、平成16年4月20日の郵政記念日には、王寺町南駅前自治会より親切美化運動についての感謝状を拝受しました。また、平成17年3月11日付の産経新聞にも記事が掲載されました。



川西久代郵便局

エアコン排水の再利用

局で使用するエアコン(ATM、お客さまルーム、事務室)3か所の排水ドレンから出る水を8リットルのバケツに溜めて、植え込みの水やりに利用しました。エアコンの温度は28度に設定していますが、1日にバケツ3杯分24リットルが溜まるので、それまで使用していた水道水24リットルを毎日削減することができました。



特進連備南連絡会福山南部会

『ゴミ分別徹底マニュアル』の作成と環境研修会の実施

部会で、福山市のHPに掲載された資料などをもとに『ゴミ分別徹底マニュアル』を作成し、ごみの分別内容及びリサイクルの重要性について局長を講師として部会研修会を行いました。その後、各局単位でも同マニュアル等を参考とした環境研修会を実施し、職員の意識向上を図りました。



倉敷郵便局・特推連備中東連絡会倉敷東部会及び同倉敷北部会

倉敷市内の清掃を実施

平成17年6月18日(土)に総勢120名もの参加者による、倉敷市内清掃活動を実施しました。当日参加者は「あなたの町の郵便局」とプリントされたはっぴを着用の上、倉敷駅前、倉敷美観地区、倉敷郵便局と約3キロのコースを清掃しました。火箸、ナイロン袋を持ち2~3人のグループを作って種別ごとにごみを収集し、最終的には軽四輪自動車いっぱいのごみが集まりました。





徳島中央郵便局・徳島市内の郵便局等
吉野川の清掃活動

アドプト・プログラム吉野川(吉野川の清掃活動を実施)を徳島市内の郵便局、徳島貯金事務センター、郵便貯金徳島センター、徳島通信病院と合同で実施しました。また、徳島市内局での使用済み乾電池の回収、国土交通省による「ボランティア・サポート・プログラム」に参加しての周辺道路の清掃・美化活動なども実施しています。また、アドプト・プログラム吉野川の模様が徳島新聞に掲載されました。



桜井郵便局・今治地域の郵便局
「ごみ街道」から「花街道」へ

今治市クリーンセンター入口の搬入道路は、ごみ収集車からこぼれる生ごみの汁や段ボールなどが散乱し、「ごみ街道」と呼ばれていました。ここを潤いのある「花街道」にしようと、平成14年6月から道路両脇の花壇に花を植える取組を地方自治会の主催で開始しており、郵便局も協賛しています。今回の活動は12回目となり、桜井郵便局をはじめ同センターを利用している地域の郵便局の職員や家族合わせて約150名が参加して「ペゴニア」の植え付けを行いました。



豊田郵便局・北部郵便局・熊本江津郵便局
花壇の輪を熊本全域に広げる

道のボランティア団体「道守くまもと会議」を中心として、美しい熊本の道づくりを目指して、ボランティアで「道守花壇づくり」の取組が行われています。豊田郵便局、北部郵便局、熊本江津郵便局もこの活動に賛同、ボランティア・サポート・プログラムの実施団体として登録し、道守花壇(団体で指定されている場所)に、花苗を各局それぞれ約700本を植え付けました。



武雄郵便局・高橋郵便局・武内郵便局・西川登郵便局・
武雄富岡郵便局・橘郵便局・東川登郵便局・若木郵便局
武雄市内のボランティア清掃

武雄市郵政まちづくり協議会(武雄郵便局(世話局)、市内特定郵便局7局)が武雄市に働きかけ、郵便局と市との合同企画によるボランティア清掃を実施しました。武雄市内の白岩運動公園及び近くを流れる武雄川沿いを5ブロックに分けて清掃活動を行い、ごみは約50袋(傘、空き缶、ビン、たばこの吸殻等)になりました。この活動は今後、毎年度武雄市に働きかけて実施することになりました。





伊是名郵便局

ボランティア清掃

伊是名郵便局がある伊是名村は、沖縄本島の北方、東シナ海に浮かぶ離島農漁村です。島の自然を守ろうと、同村が平成17年4月から「環境協力税」を導入したことをきっかけに、平成17年10月から地域住民と協力しボランティア団体（総勢20名程度）を結成し、島のかげがえのない豊かな自然を守ろうとの願いをこめ、山羊に道路沿いの雑草等を食べさせ、村道や農道の美化に一役を担うユニークな取組のほか、毎月1回、島内の海岸や公園等の清掃を行っています。清掃の際は、局長はじめ伊是名郵便局の職員も参加し島内の美化に汗を流しています。



首里郵便局・首里当蔵郵便局・首里平良郵便局・首里末吉郵便局・首里汀良郵便局・首里山川郵便局・首里寒川郵便局

首里地域のボランティア清掃

ボランティア清掃の実施に当たっては、休日ということもあり多くの職員とその家族が参加しました。日頃お世話になっている首里地域の方々へ感謝の意を表すとともに、地域の環境美化を目的として首里郵便局と首里地域の特定郵便局が連携して本施策を実施。清掃場所としては那覇市民の憩いの場である末吉公園を選定しました。空き缶・タバコの吸殻等を参加者全員が30度を超える猛暑の中、汗をかきながら作業を進め、20袋分のごみが回収できました。